

技術展示



注目技術賞審査委員長
野坂 周子氏
〔近畿地方整備局 企画部長〕

「建設技術展2025近畿」では、「DX・ICT」、「維持・更新」、「防災」といった時代の要請に応える9つの分野において、産学官から239の出展者による282のブースにて、多様な技術が一堂に会し、会場は終始熱気に包まれ、2日間の会期中に1万7千人を超える来場者を迎え、最新技術への関心の高さが伺える素晴らしい技術展となりました。

本技術展では、最新技術の展示に加え、様々なイベントも多数開催されました。“南海トラフ地震に備えて-阪神・淡路大震災から30年、大阪府の地震防災最前線-”と題したフォーラムや、“西日本の『エッセンシャルネットワーク』～広域高速交通ネットワークを考える～”に関するシンポジウムなどが来場者に向けて発信され、建設業界の未来を考える貴重な機会となりました。

今回の注目技術賞および審査委員特別賞の審査にあたっては、「技術の先進性」「効果」「活用性」という3つの観点を重視しました。その結果、「DX・ICT」分野からスマートフォンが万能測量機となる技術、多様な現場状況に対応可能なポート型ドローンの技術を選定し、「環境」分野からバイオ技術を用いた菌の呼吸を活用したコンクリートの自己治癒と水銀汚染浄化技術を選出しました。さらに、来場者投票により選ばれるベストブース賞は、出展者による技術の魅力を直感的に伝える工夫と熱意が多くの共感を呼んでいました。

現在、建設業界は人手不足、現場の安全確保など様々な課題を抱えており、より一層の生産性向上や働き方改革に取り組むことが不可欠となっています。産学官が連携して技術展を盛り上げ、展示された技術が現場で実装され積み重ねることで、産業全体の強靱性強化へと繋がるものと考えています。新たな技術の積極的な導入により建設業がより一層元気に、災害に対する地域の安全・安心が将来にわたって確保される社会が実現することを強く期待します。

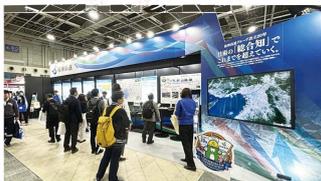
ベストブース賞



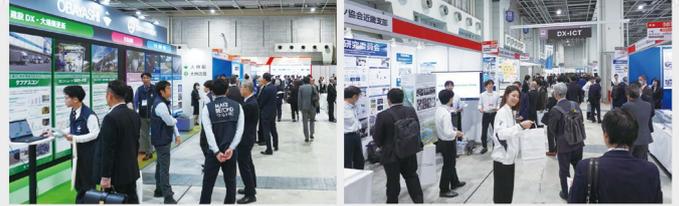
阪神高速グループ

団体

この度は、ご来場いただいた皆様のご投票により「ベストブース賞」という栄えある賞をいただけたことを大変光栄に存じます。今年は、「先進の道路サービスへ」という理念のもと、民営化20年の歩みを振り返りつつ、安全・安心・快適な道路サービスの実現に向けた取り組みを紹介させていただき、多くのお客さまにご来場いただいたことを深く感謝しております。今後も皆様のご期待に沿えるよう、より良い道路サービスの実現に向けて誠心誠意努めて参ります。



阪神高速道路(株) <https://hanshin-exp.co.jp>
（財）阪神高速先進技術研究所 <https://www.hit.or.jp>
阪神高速技術(株) <https://www.hex-eng.co.jp>
阪神高速技術研(株) <https://www.hanshin-tech.co.jp>



注目技術賞

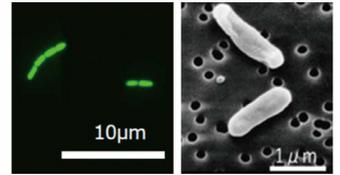


安藤ハザマ

環境

Bio-Smart Concrete

安藤ハザマは「菌の呼吸」の使い手です。コンクリートのような強アルカリ環境でも生存可能なAH菌は、酸素を使って呼吸します。この菌がコンクリート中の酸素を消費し、鉄筋のさびの進行を抑えます。そして、菌が吐き出す二酸化炭素とカルシウムが反応してできた炭酸カルシウムが、ひび割れを埋めてくれます。高濃度の水銀で汚染された環境でも生存可能な鉄酸化細菌は、鉄を使って呼吸します。水銀で汚れた土や地下水に鉄分と鉄酸化細菌を加えると、菌の呼吸によって鉄が反応し、水銀を分離できる形に変えて取り除くことができます。



AH菌

鉄酸化細菌

Tel 06-6454-2690 <https://www.ad-hzm.co.jp/>

審査委員特別賞



青木あすなろ建設(株)

防災

DRFダンパーを用いた橋梁制震化技術

兵庫県南部地震以降は、最低限の耐震補強として落橋・倒壊対策が施されてきましたが、落橋を免れても交通機能を維持できなければ、公共インフラの役割を果たすことができません。そこで、地震後も速やかな機能回復を目指す対策として、橋梁の固定支承部に設置できるDRFダンパー(ダイス・ロッド式摩擦ダンパー®)を開発しました。レベル1の中小地震には固定支承として機能し、レベル2の大地震に対しては橋脚基部を弾性範囲ないし限定的な損傷に留め地震後も緊急輸送路としての機能できるDRFダンパーによる耐震補強工法を提供します。



DRFダンパー製品画像

Tel 03-5439-8511 <https://www.aaconst.co.jp/>

審査委員特別賞



首都高技術(株)

維持・更新

こんこん～連続打音検査装置～

特徴

- 高さ8.0mまでのタタキ点検に適用可能。
- 接近困難な狭隙部のタタキ点検に適用可能。
- ポールとの接続部が可動することで、接触面の角度が自由に調整可能。
- 付属のマイクロフォンにより、高所の打撃音も聞くことが可能。
- 大容量バッテリーを搭載しているため、1日作業(8H)が可能。



打撃部

打突部 操作ボックス

Tel 03-3578-5757 <https://www.shutoko-eng.jp/>